

報告（1）学校再編の進捗状況について

1 第一次実施計画と答申の内容比較

(1) 西陵中学校と富士見中学校の統合

第一次実施計画	答申
統合時期：平成 32 年 4 月 1 日 使用校舎：富士見中学校	—
答申にはないが、学校再編基本計画の策定前(平成 21 年)から議論し、平成 29 年 4 月に統合を決定している。今後、他の学校再編と一体的に進めていくため、本計画に記載することとした。	

(2) 二宮小学校と緑ヶ丘小学校の統合

第一次実施計画	答申
答申のとおりとし、統合時期等を決定 統合時期：平成 33 年 4 月 1 日 使用校舎：緑ヶ丘小学校	二宮小学校と緑ヶ丘小学校を統合し、校舎は緑ヶ丘小学校を使用する。
統合時期は、西陵中学校と富士見中学校の統合が平成 32 年であり、同じ時期とするのは児童生徒、保護者や地域への負担が大きいと想定されるため、時期を 1 年ずらすこととした。	

(3) 本納小学校、新治小学校、豊岡小学校の統合

第一次実施計画	答申
3 小学校を統合し、特色ある教育を推進する。	本納小学校、新治小学校及び豊岡小学校の 3 校を速やかに統合する。校舎は新設する。
<ul style="list-style-type: none"> ・答申では「速やかに統合」、「新設」であったが、庁内協議の結果、平成 33 年(2021 年)から始まる市の次期総合計画との整合を図っていく必要があることから、「統合時期」や「新設」は明確にできない。 ・最終的に 3 校が統合することと、本納中学校は小規模でも存続させ、統合後の小学校の位置は本納中学校付近を中心に検討し、小中一貫教育を視野に入れた特色ある教育を目指すという方針は、庁内協議を経て意思統一が図られた。 ・第二次実施計画期間内(平成 33 年度～37 年度)での統合を目指すこととなり、統合まで時間がかかるため、早急に新治小学校の小規模対策を検討する。まずは交流事業を充実させ、同時に他の方策について協議していく。 	

2. 茂原市学校再編第一次実施計画に関するPTA説明会での主な意見等について

(1) 二宮小学校と緑ヶ丘小学校の統合

日時	場所	出席人数
6月22日(金)	二宮小学校(体育館)	76名

《主な意見等》

- ・校名、校章、校歌については、保護者や地域の方の意見を聴くだけでなく、最終的に決定するまでかかわれるようにしていただきたい。
- ・スクールバスの導入については、一律4kmという距離で換算するのではなく、現在の通学の状況を十分に把握した上で進めていただきたい。
- ・スクールバスの導入や統合に関しては多くの反対はないと思うが、進め方については重々検討して、住民との中で決めていただきたい。

6月26日(火)	緑ヶ丘小学校(レインボールーム)	20名
----------	------------------	-----

《主な意見等》

- ・特に意見は出ず、統合準備委員会の委員構成、今後のスケジュールや統合の仕方についての質問が出された。

(2) 本納小学校、新治小学校、豊岡小学校の統合

日時	場所	出席人数
6月8日(金)	新治小学校(図書室)	14名

《主な意見等》

- ・新しい学校をつくるよりも、本納中学校の空き教室を使った方が早いと思う。
- ・本納小学校は崖で使えないなら、新治小学校に来てもらいたい。
- ・一時的に一番大きい豊岡小学校で3校が一緒になり、その間に新しい小中一貫校をつくってはどうか。
- ・豊田小学校または豊岡小学校への選択制を導入してはどうか。

6月28日(木)	豊岡小学校(コンピューター室)	4名
----------	-----------------	----

《主な意見等》

- ・今の中学校区で話が進んでいるが、本納中学校区の区割りを見直しても良いのではないか。
- ・新治小学校の小規模を早期に解消するために豊田小学校または豊岡小学校への選択ができるようにしたらどうか。

7月7日(土)	本納小学校(図書室)	25名
---------	------------	-----

《主な意見等》

- ・本納小学校の子ども達を新治小学校と豊岡小学校に分割することは、子ども達にとってはすごく可哀想なことなので、そういう案はやめて欲しい。
- ・小中一貫校を目指すということで話が進んでいるのであれば、本納中学校の活用はできないのか。
- ・学校再編よりも先に土砂災害警戒区域等の指定に対する対応を至急行っていただきたい。

3. 各統合の進捗状況について

(1) 西陵中学校と富士見中学校の統合

① 茂原市学校再編第一次実施計画より抜粋

統合時期	平成 32 年(2020 年) 4 月 1 日	使用校舎	富士見中学校
通学区域	現行の両中学校区を合わせた区域		

西陵中学校と富士見中学校の統合については、基本計画策定前の平成 21 年から検討されており、すでに方向性を決定しております。今後はこの統合についても実施計画に含め、他の学校再編と一体的に進めていきます。

【主な経緯】

- 平成 21 年 ・西陵中の小規模対策について検討を開始
- 平成 23 年 ・富士見中と西陵中の「学校選択制」を導入
(平成 25 年度入学生まで、後に延長し平成 29 年度入学生まで)
- 平成 29 年 4 月 ・平成 32 年 4 月 1 日に富士見中へ統合することを教育委員会会議で議決

【今後のスケジュール】

内容	第一次実施計画				第二次
	年度 H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33~H37 (2021~2025)
統合準備委員会での協議	→				
交流事業の実施	→				
通学路の検討	→				
富士見中学校校舎 大規模改造 ※		(設計)	(入札・工事)		
統合の実施				●	→

※大規模改造とは、築年数の経過により通常発生する建物の損耗、機能低下に対する復旧措置や改装等を行う事業のこと。

② 平成 30 年(2018 年) 5 月 1 日現在の生徒・学級数

学校名	普通学級								特別支援学級	
	1 年生		2 年生		3 年生		合計		生徒	学級
	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級		
西陵中	9	1	14	1	18	1	41	3	2	2
富士見中	126	4	140	4	134	4	400	12	9	2

③ 現在の進捗状況

統合準備委員会での協議

統合準備委員会は、両校の校長、教頭、教務主任で構成し、統合を円滑に行うための準備を進めている。

また、統合に向けた取組状況を保護者や地域の皆様にお知らせするものとして「統合準備委員会だより」（別紙：参考資料）を発行している。

・主な協議内容

第1回（平成29年11月21日）

制服・体操服、通学用自転車、卒業アルバム等について

第2回（平成30年1月24日）

新1年生で使用する教材、通学路等について

拡大委員会（平成30年2月7日）

新学習指導要領移行期の年間指導計画について

第3回（平成30年3月20日）

1年生交流事業について

第4回（平成30年7月9日）

1年生交流事業の報告、教育課程について

第5回（平成30年9月19日）

統合準備委員会だより、来年度の行事について

交流事業の実施

1年生校外学習での交流（平成30年5月31日）

文化祭での交流予定（平成30年10月26日）

通学路の検討

緑ヶ丘地区から富士見中学校へ登校する際の通学路の危険箇所を学校が確認

富士見中学校校舎の大規模改造工事

- ・富士見中学校体育館の改修工事（平成30年3月に完了）
- ・設計業務委託料を平成30年度予算に計上（工事は、平成31年度から平成32年度を予定）
- ・生徒全員に「校舎内全面改装に向けたアンケート」を実施し、改善してほしいこと、困っていることなどを把握

(2) 二宮小学校と緑ヶ丘小学校の統合

① 茂原市学校再編第一次実施計画より抜粋

統合時期	平成 33 年(2021 年) 4 月 1 日	使用校舎	緑ヶ丘小学校
通学区域	現行の両小学校区を合わせた区域		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクールバス等の通学手段の検討 ・ 校名、校歌、校章の検討 ・ 統合に関する準備委員会の設置、協議 など 		

二宮小学校と緑ヶ丘小学校は、平成 29 年 5 月 1 日現在、いずれも全学年が単学級となっており、今後も減少が続くものと見込まれるため、この両校を統合します。

使用校舎については、校舎の新しさ、使用できる教室数、敷地面積などを考え、緑ヶ丘小学校を使用します。ただし、校名や校歌、校章等については、住民の意見等を踏まえて検討することとします。

また、真名や黒戸など一部地区の通学距離が長くなるため、地域住民や保護者の意見を聞きながら、スクールバス等の通学手段について、導入の有無を含めて検討します。

【今後のスケジュール】

内容	第一次実施計画				第二次	
	年度	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33～H37 (2021～2025)
統合準備委員会の設置・協議		→				
通学路や通学手段の検討		→				
学童クラブの検討・準備		→				
交流事業の実施		→				
統合の実施					● →	

② 平成 30 年(2018 年) 5 月 1 日現在の児童・学級数

学校名	普通学級									
	1 年生		2 年生		3 年生		4 年生		5 年生	
	児童	学級								
二宮小	15	1	23	1	15	1	27	1	19	1
緑ヶ丘小	30	1	21	1	23	1	26	1	27	1

学校名	普通学級				特別支援	
	6 年生		合計		学級	
	児童	学級	児童	学級	児童	学級
二宮小	16	1	115	6	6	2
緑ヶ丘小	21	1	148	6	2	2

③ 現在の進捗状況

統合準備委員会の設置・協議

- ・統合準備委員会設置に向けて、両校の校長、教頭及び学校教育課で協議を進めている。
- ・統合準備委員会の設置にかかわる要綱を策定
- ・統合準備委員会の委員は、両校の校長、教頭以外に保護者及び地域住民を含めて概ね 12 名で検討している。

通学路や通学手段の検討・学童クラブの検討・準備

- ・スクールバス等の通学手段については、今後設置予定の統合準備委員会の中で検討していく。

交流事業の実施

- ・陸上競技大会に向けて合同練習(平成 30 年 5 月 15 日・22 日)
- ・サッカー、ミニバスケットの練習試合(平成 30 年 8 月 3 日・27 日)
- ・学年ごとの交流学习の計画(11～12 月)

(3) 本納小学校、新治小学校、豊岡小学校の統合

① 茂原市学校再編第一次実施計画より抜粋

統合方針	3 小学校を統合し、特色ある教育を推進する
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統合後の校舎の場所の選定 ・ 新治小学校の小規模対策の検討 ・ スクールバス等の通学手段の検討 ・ 校名、校歌、校章の検討 ・ 統合に関する準備委員会の設置、協議 ・ 統合にかかる予算の確保 など

○現状

本納地区には、本納小学校、新治小学校、豊岡小学校の3校がありますが、平成29年5月1日現在いずれも適正規模を満たしておらず、今後も児童が減少し近い将来全学年が単学級になると見込まれます。特に新治小学校は市内で唯一複式学級が存在する学校となっています。また、本納中学校も現在適正規模を満たしておらず、将来的にも生徒数の減少が見込まれる状況です。

○方針

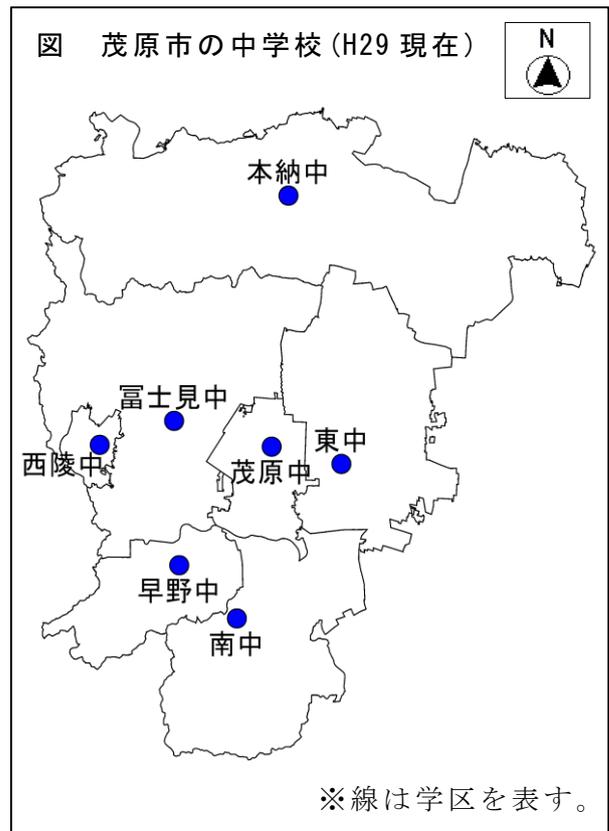
3つの小学校は、将来的にいずれも小規模化が見込まれていることから、3校を統合することとします。一方、本納中学校についても小規模化が見込まれますが、他の中学校へ統合した場合、市北部地域から中学校がなくなってしまい（図参照）、通学範囲等を考慮すると生徒の負担が大きく、望ましい教育環境にはならないため、統廃合はせず存続させることとします。

そして、3小学校の統合を機に、本納地区における特色ある教育を推進します。統合後の小学校の位置は、小中一貫教育を視野に入れ、本納中学校付近を中心に検討します。

時期については、市の次期総合計画等との整合を図りながら、第二次実施計画期間内（平成33年度～37年度（2021年度～2025年度））での統合を目指します。

統合までの間は、新治小学校の小規模対策として、学校間の交流事業をより充実させるほか、さまざまな手段を検討し実施していきます。

なお、統合により通学区域が非常に広範囲となるため、スクールバスなどの通学手段を必ず確保します。



【今後のスケジュール】

第一次実施計

第二次

年度	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33～H37 (2021～2025)
内容					
新校の場所の調査・選定		—————▶			
小中一貫教育等の研究	—————▶				
新治小の小規模対策事業 検討・実施（交流含む）	—————▶				—————▶
統合準備委員会の設置・ 協議				▶
通学路や通学手段の検討				▶
学童クラブの検討・準備				▶
統合の実施				▶

② 平成 30 年（2018 年）5 月 1 日現在の児童・学級数

学校名	普通学級									
	1 年生		2 年生		3 年生		4 年生		5 年生	
	児童	学級								
本納小	23	1	25	1	22	1	34	1	22	1
新治小	5	1	3	1	6	1	12	1	4	※
豊岡小	36	2	25	1	33	1	37	1	44	2

学校名	普通学級				特別支援	
	6 年生		合計		学級	
	児童	学級	児童	学級	児童	学級
本納小	32	2	158	7	2	2
新治小	10	※	40	5	0	0
豊岡小	39	2	214	9	1	1

※複式学級

③ 現在の進捗状況

新校の場所の調査・選定

- ・統合後の小学校の位置は、本納中学校付近を中心に検討しているが、現在のところ適正な土地は見つかっていない。
- ・新たな土地を確保し、周辺等の整備を進めていくには多額の費用がかかり財政負担が大きいことから、既存の学校施設の活用も検討している。

小中一貫教育等の研究

- ・長南町の小中一貫校（長南町立長南小学校・長南中学校）を視察（平成 30 年 6 月 28 日）
- ・今後、本市の小中一貫教育の在り方についてさらに調査検討していくため、義務教育学校（例：成田市 下総みどり学園）等の視察を予定している。

新治小の小規模対策事業の検討・実施(交流含む)

・交流事業の実施

本納小学校との交流

- 平成 29 年 11 月 10 日 4・5 年生 タッチバレーボールの実施
- 平成 29 年 11 月 15 日 4 年生 総合的な学習：点字について
- 平成 30 年 1 月 16 日 模擬選挙の実施
- 平成 30 年 6 月 25 日 3 年生 社会：校外学習 市内めぐり
- 平成 30 年 10 月 30 日 3 年生 社会：校外学習 スーパーマーケット

豊岡小学校との交流

- 平成 29 年 11 月 21 日 授業及び給食を合同で実施
 - 4 年生 国語・体育
 - 5 年生 国語・体育
 - 6 年生 家庭科
- 平成 30 年 6 月 20 日 授業及び給食を合同で実施
 - 4 年生 体育・音楽
 - 5 年生 国語・体育
 - 6 年生 家庭科
- 平成 30 年 9 月 12 日 5 年生 思春期教室

3 校合同での交流(新たな取り組み)

- 平成 30 年 11 月 21 日 手づくりみらい教室の実施(予定)

- ・複式学級の担任の指導計画のもと、国語・社会・算数・理科を中心に、学年別に少人数指導を行えるよう市費で講師を雇用し、派遣している。